

第3回 CEAPAD 閣僚級会合

河野外務大臣による開会セッションにおけるスピーチ (2018年6月27日 於:バンコク)

- プラジン・チャントーン・タイ王国副首相兼法務大臣, ドーン・ポラマツウイナイ・タイ王国外務大臣, リヤード・マーリキー・パレスチナ外務庁長官, ルトノ・マルスディ・インドネシア共和国外務大臣, ご列席の皆様。
- まずは, 本会合を主催されたタイ政府の尽力に心から感謝申し上げます。今般, バンコクで, 第3回 CEAPAD 閣僚級会合を開催できたことを嬉しく思います。

(CEAPAD, 我が国の貢献)

- CEAPAD が産声を上げてから今年で5年。経済成長著しく, それぞれ誇るべき分野をもつ東アジア諸国。また, 将来の国づくりに向けて, 「人」への投資に積極的なパレスチナ。我々は, CEAPAD の枠組みの中で, 日本と東アジアで協力して様々な分野でパレスチナの方々への人材育成を行ってきました。
- 昨今のガザ情勢を含め, 中東和平は楽観できる状況にはなく, パレスチナが直面する現実は引き続き厳しいものがあります。しかし, 私は, このような厳しい時期だからこそ, CEAPAD を通じた人材育成や知見の共有を地道に続けることが重要だと考えます。それは, パレスチナ経済の発展を促す強固な土台となり, ひいては, パレスチナの若者が「二国家解決」への希望を持ち, その実現に向けて前進できるような環境づくりにつながるからです。

- 日本は、CEAPAD 第二回閣僚級会合の際のお約束を超えて、5年間で、タイ、インドネシア、マレーシアとの三角協力を含む約1500人のパレスチナ人に対して、人材育成のための支援を実施しました。これらを含め、1993年以降、日本がパレスチナに実施してきた支援の総額は約19億ドルに上ります。

(UNRWA)

- もうひとつ提起したい重要な問題があります。中東和平を巡る厳しい情勢やシリア危機の影響を受け、ますます困難な状況に置かれているパレスチナ難民の状況を深く憂慮しています。更に、その難民を救済する UNRWA が深刻な財政危機に直面しています。
- 私はかつてベツレヘムの難民キャンプで UNRWA が運営する小学校を訪問しました。教育は、難民の子どもたちの将来への投資であり、こうした観点からも UNRWA の活動は重要です。この活動は過激派を生み出さない社会造りに貢献しており、中東の更なる不安定化を防ぐ防波堤としての役割は益々重要性を増していると考えます。
- 更に、東南アジアでも、過激派の伸長という課題に直面しており、テロ対策の面からも UNRWA が活動を継続させることが極めて重要です。UNRWA の活動は、我々アジアにも直結するものであり、ここにお集まりの CEAPAD のメンバーにも、UNRWA との更なる協力を呼びかけたいと思います。
- UNRWA の地域の安定に果たす役割に鑑み、我が国としてできる限りの支援を継続していく考えです。先般日本は、新たに合計約1500万ドルの支援を決定しました。UNRWA の財

政危機は、国際社会で協力して乗り越えるべき課題です。
（「平和と繁栄の回廊」構想）

- パレスチナへの取組は私の中東外交の最前線です。私は、4月に、我が国独自のイニシアティブである「平和と繁栄の回廊」構想とその旗艦事業であるジェリコ農産加工団地（JAIP）の推進について閣僚級で、死海において協議しました。今会合で共に共同議長を務めるマーリキー長官はじめ、イスラエル、ヨルダンの閣僚が参加しました。
- 2010年に自分がJAIPを訪問した際には、広大な土地に道が一本しかありませんでしたが、どの様な時でも歩みを止めず、小さな種を大事に育ててきた成果は、現在、12社が操業し、実際の雇用を産み出すという大きな芽に成長しつつあります。
- JAIPで生産された製品が、アジアを含む世界に輸出されることを期待して、このイニシアティブをグレードアップすることを昨年12月にJAIPを訪問した際に表明しました。
- そのために注目しているのが、ICT分野です。パレスチナには制限のある環境下に優秀な人材が多くおり、ICT分野は彼らが壁を越えて世界とつながる重要な架け橋となります。日本は、ICTの起業支援を実施し、PAへの政策アドバイザーを派遣します。9月には、JAIPでICTコンペの開催も予定しており、優勝者を日本へ招へいする予定です。
- また、JAIP製品のスムーズな流通拡大のため、日本は国境施設の能力向上やヨルダン川兩岸の物流構造の円滑化にも貢献していきます。

●JAIP の更なる推進には，成長著しく，勢いにあふれた CEAPAD メンバーの民間の活力にも期待したいと考えています。そのための始めの一歩として，ぜひ，CEAPAD の共同ミッションでパレスチナを訪問し，パレスチナ支援の成功例として JAIP を視察していただきたい。

●本日は，JAIP の展示ブースをご用意しました。ぜひ，この後の休憩時間でお手にとりご覧ください。

(結語)

●CEAPAD には，大きな潜在性があります。また，パレスチナからの大きな期待もあります。今や東南アジアは世界最大のイスラム・コミュニティとなっています。だからこそ，過激派対策も含め，我々アジアが今こそ中東和平問題の解決のために立ち上がるべきです。パレスチナに連帯感を示し，その国づくり努力を支援していくことに積極的な東アジアの仲間たちがこんなに集まったということに私は勇気づけられています。皆で力を合わせれば，大きな成果を生み出すことができると信じています。

●本日の成果が，「二国家解決」に向けた国際社会の努力に良い影響をもたらし，パレスチナにとっての希望の光となることを切に望んでおります。

(了)